

分かりやすい

産地判別の手引き

シリーズ Vol.7

産地判別検査について分かりやすく解説

こんな方に
お勧めです

- ・ 産地判別に興味がある
- ・ 食品偽装対策を考えている
- ・ 食品の品質管理を行っている

もくじ

- ・ 食品偽装とは 2
- ・ 産地偽装とは 3
- ・ 産地偽装を見破るには 4
- ・ 元素分析による産地判別 5
- ・ 食環研の産地推定判別検査1 6
- ・ 食環研の産地推定判別検査2 7
- ・ お問い合わせ先 8

食品偽装とは

食品の偽装とは、どのようなものがあるのでしょうか。

いくつか例を挙げてみましょう。

- ・ 外国産を国産と偽る
- ・ 有名ブランドを偽る
- ・ 賞味期限を偽る
- ・ 無農薬を偽る

これらは主に、商品の価値を高める目的であったり、商品の量を水増しするといった、不当に利益を上げるために行われてしまいます。



産地偽装とは

そのうち、『外国産を国産と偽る』といったように、食品の生産地を偽ることが『産地偽装』になります。

産地偽装は、その食品の見た目や、通常の栄養成分を調べるだけでは見分けが付きません。そのため、自社に産地偽装をするつもりがなくても、取引先が産地偽装をした商品が納入されてしまい、結果として産地偽装に繋がってしまう場合があります。

このような悪意を持った行為から会社を守るため、産地偽装を見破るための手段が必要です。



産地偽装を見破るには

産地偽装を見破る、または産地偽装の疑念を晴らすためには、『産地判別』と言われる種類の検査が必要です。

『産地判別』検査の種類として、

- ・ 元素分析
- ・ 同位体比分析
- ・ DNA分析

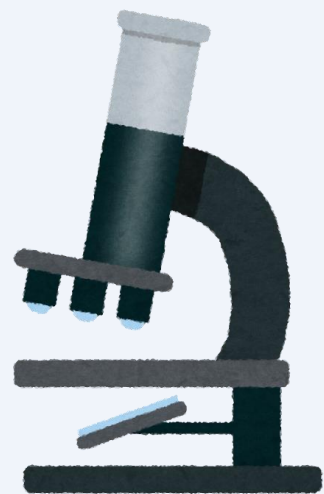
といった手法が挙げられます。



元素分析による産地判別

元素分析による産地判別法は現在産地判別の主流となっている検査手法で下記メリットがあります。

- ・ コストが安い
- ・ 保存による影響が少ない
- ・ 成熟度による差が少ない
- ・ 同じ品種でも判別が可能
- ・ 微量分析を得意とするため検出の範囲が広い



食環研の産地推定判別検査1

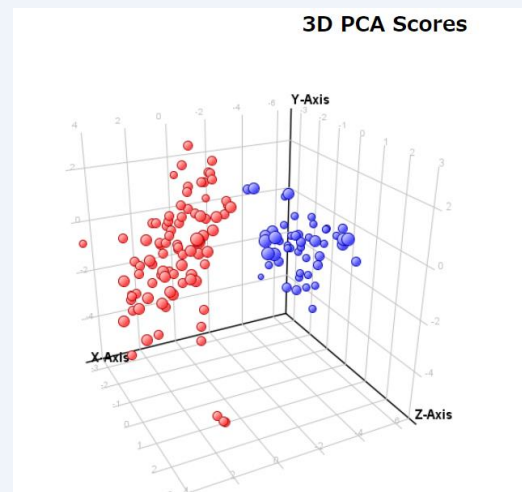
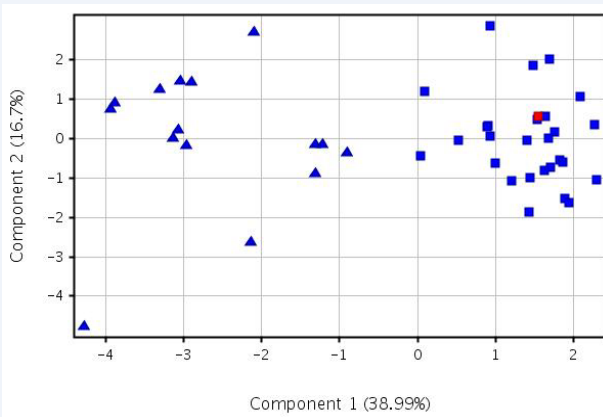
弊社では、産地推定判別検査をICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析計）を用いた多元素同時測定と多変量解析システムを組み合わせることで、高い精度で食品の産地を判別する手法を採用しております。

ICP-MSは高感度測定・幅広い測定範囲という2つの特徴を持っています。このことから微量元素はもちろん、比較的高濃度含まれる元素も同時に測定し、多数の元素を判別に利用することができます。



食環研の産地推定判別検査2

多変量解析システムでは、解析途中のデータや解析結果を視覚化し、難しい専門用語や専門知識を使わずに、誰にでもわかりやすい『グラフ』という形で結果をお伝えすることができます。



お問い合わせ先

お問い合わせはお電話もしくは
ホームページのお問い合わせ
フォームよりお問い合わせ下さい。

- お電話によるお問い合わせの場合
下記よりお問い合わせ下さい。

TEL:027-230-3411 FAX:027-230-3412

- お問い合わせフォーム
下記URLとなっております。

<https://www.shokukanken.com/inquiry/form.cgi>

- 食環研ホームページ

<http://www.shokukanken.com/>

産地判別の手引き
2018年5月14日（第1版発行）

株式会社食環境衛生研究所
〒379-2107 群馬県前橋市荒口町561-21
TEL:027-230-3411 FAX:027-230-3412

